

# イスラム経済は広がるか

「イスラムの教義に沿ったイスラム金融やハラール食品の拡大をどうみますか。」

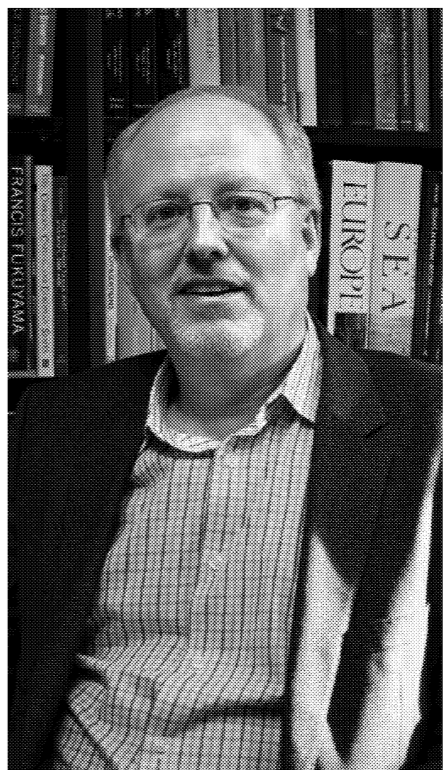
「利子の存在を禁じるイスラム金融は、石油危機が起きた1970年代から広がった。原油高で手に入れた富を有効に活用するためだ。実際、イスラム金融と原油価格は連動性がある。」

「教義に従って加工、調理するハラール食品の普及は、わりと近年のことだろう。有機食品と同じように、ニッチ(隙間)市場を開拓するブランドと考えればいい。」

「グローバル化や市場化に適応し、経済を発展させようというイスラム世界の工夫のようにもみえます。」

米デューク大教授

ティムール・クラン氏



Timur Kuran 米スタンフォード大経済学博士。トルコ系イスラム政治経済史が専門。中東経済の盛衰論に定評。60歳。

## 宗教に基づく法制度壁

「ハラール食品もニッチな市場にとどまるだろう。中東の一部では、社会生活の宗教色が薄れる兆しもみられる。イスラム金融やハラール食品の潜在力は否定しないが、過大評価もできないはずだ。」

「産業革命後の欧州では、多くの資本を持つ大規模な企業が生まれ、大量生産や大量輸送の近代的な技術を取り入れて急成長を遂げた。これに對して中東には小規模な企業しかなく、資本の蓄積や技術の導入が進まなかった。」

「最大の理由は独自の相続制度にある。イスラム法の規定では、故人の遺産を親族に広く分け与えなければならぬ。一夫多妻を認めていることもあって、成功した人の富が分割されやすい。これが資本の集積を妨げた。長子相続が主流だった英国や北フランスなどで、産業革命が起きたのは対照的だ。」

「イスラム世界と資本主義は相いれない関係にあると考えるべきでしょうか。」

「イスラム世界も営利活動や私的財産を認めている。預言者ムハンマドも商家の出だった。だから資本主義と本質的に相いれないとは思われない。そうではなくて、イスラム法に基づく制度が問題をばらんでいるのだ。」

「中東の経済発展が遅れた理由はほかにある。企業規模の小ささは、欧州のような市民社会の成熟を阻む要因にもなった。企業や銀行といった組織に対する信頼感が乏しく、市場を経由しない仲間内の取引に多くを頼ってきた点も挙げられるだろう。」

「その課題を克服し、経済的に巻き返せますか。」

「いまの中東は政治的に不安定だ。非民主的で正統性の乏しい政権が残り、資本の本格的な流入を妨げている。短期的に問題を解決するのは難しい。当面は発展途上国にとどまらざるを得ないだろう。」

「イスラム世界も営利活動や私的財産を認めている。預言者ムハンマドも商家の出だった。だから資本主義と本質的に相いれないとは思われない。そうではなくて、イスラム法に基づく制度が問題をばらんでいるのだ。」

「イスラムの宗派対立は根深い。スンニ派の過激組織であるイスラム国の掃討も容易ではないだろう。しかし中東の多くは長きにわたり、ほかの地域との協調関係を築いてきた。国際社会に安全保障上の脅威を与え続けてきたわけではない。中東が平和構築への努力を続ける限り、世界との共存が不可能だと考える理由は見当たらない。」

## 資本の蓄積なく遅れ

金融や食品でイスラムの教義に沿ったサービスや商品の拡大が目立ってきた。日米欧の資本主義と比べ異質にもみえるイスラム経済とどう向き合えばいいか。同経済の法制度の限界を説くティムール・クラン米デューク大教授と、イスラム圏の人口増に注目する小杉泰京大教授に聞いた。(聞き手は、ワシントン支局長 小竹洋之、編集委員 加賀谷和樹)



## 人口増が大きな力に

「イスラム銀行には1980年代から注目している。その当時はまだ『(利子を紹介しないという仕組みが)言語矛盾ではかばかしい』という感じで受け止められていた。世界経済の中ではなおニッチかもしれないが、イスラム諸国では銀行活動の2〜3割を占め、メジャーになりつつある。すでにイスラム銀行だというだけでは金融機関の特徴とまらない。営業がきちんとしているか、優良な顧客を抱えているかということが問われる時代になってきた。」

京都大教授

小杉 泰氏

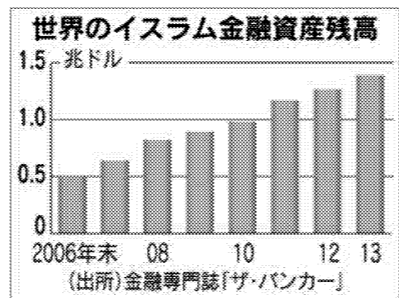


こすぎ・やすし エジプト国立アズハル大卒、京都大法学博士。比較文明学など専門。イスラム研究の権威。紫綬褒章受章。61歳。

### 聞き手から

イスラム経済は近代の入り口でつまづいたが、条件さえ整えば将来は明るい――両氏の認識はこの点で一致しているようだ。だが、イスラム諸国の現状について、クラン氏が宗教色の薄い世俗化の広がりや指摘するのに対し、小杉氏は「イスラム復興運動」の盛り上がりや主張する。実際のイスラム圏はこれら相反する2つの側面を併せ持つ。国

## 東南ア、中東変革の突破口



「イスラム世界と資本主義は相いれない関係にあると考えるべきでしょうか。」

「イスラム世界も営利活動や私的財産を認めている。預言者ムハンマドも商家の出だった。だから資本主義と本質的に相いれないとは思われない。そうではなくて、イスラム法に基づく制度が問題をばらんでいるのだ。」

「最大の理由は独自の相続制度にある。イスラム法の規定では、故人の遺産を親族に広く分け与えなければならぬ。一夫多妻を認めていることもあって、成功した人の富が分割されやすい。これが資本の集積を妨げた。長子相続が主流だった英国や北フランスなどで、産業革命が起きたのは対照的だ。」

「その課題を克服し、経済的に巻き返せますか。」

「いまの中東は政治的に不安定だ。非民主的で正統性の乏しい政権が残り、資本の本格的な流入を妨げている。短期的に問題を解決するのは難しい。当面は発展途上国にとどまらざるを得ないだろう。」

「イスラム世界も営利活動や私的財産を認めている。預言者ムハンマドも商家の出だった。だから資本主義と本質的に相いれないとは思われない。そうではなくて、イスラム法に基づく制度が問題をばらんでいるのだ。」

「イスラムの宗派対立は根深い。スンニ派の過激組織であるイスラム国の掃討も容易ではないだろう。しかし中東の多くは長きにわたり、ほかの地域との協調関係を築いてきた。国際社会に安全保障上の脅威を与え続けてきたわけではない。中東が平和構築への努力を続ける限り、世界との共存が不可能だと考える理由は見当たらない。」

「イスラム世界も営利活動や私的財産を認めている。預言者ムハンマドも商家の出だった。だから資本主義と本質的に相いれないとは思われない。そうではなくて、イスラム法に基づく制度が問題をばらんでいるのだ。」

「最大の理由は独自の相続制度にある。イスラム法の規定では、故人の遺産を親族に広く分け与えなければならぬ。一夫多妻を認めていることもあって、成功した人の富が分割されやすい。これが資本の集積を妨げた。長子相続が主流だった英国や北フランスなどで、産業革命が起きたのは対照的だ。」

「その課題を克服し、経済的に巻き返せますか。」

「いまの中東は政治的に不安定だ。非民主的で正統性の乏しい政権が残り、資本の本格的な流入を妨げている。短期的に問題を解決するのは難しい。当面は発展途上国にとどまらざるを得ないだろう。」

「イスラム世界も営利活動や私的財産を認めている。預言者ムハンマドも商家の出だった。だから資本主義と本質的に相いれないとは思われない。そうではなくて、イスラム法に基づく制度が問題をばらんでいるのだ。」

「イスラムの宗派対立は根深い。スンニ派の過激組織であるイスラム国の掃討も容易ではないだろう。しかし中東の多くは長きにわたり、ほかの地域との協調関係を築いてきた。国際社会に安全保障上の脅威を与え続けてきたわけではない。中東が平和構築への努力を続ける限り、世界との共存が不可能だと考える理由は見当たらない。」

## 没落からの復興目指す

「ハラールは明確にイスラム世界の食品産業の主流だ。豚肉を食べない、酒はのまないといったルールは、いまでも衰えない教義の基盤の一つである。イスラムの教義に適合して『許された』ことがハラールなので、食品だけでなく化粧品など幅広い。こつとした金

「産業革命後の欧州では、多くの資本を持つ大規模な企業が生まれ、大量生産や大量輸送の近代的な技術を取り入れて急成長を遂げた。これに對して中東には小規模な企業しかなく、資本の蓄積や技術の導入が進まなかった。」

「最大の理由は独自の相続制度にある。イスラム法の規定では、故人の遺産を親族に広く分け与えなければならぬ。一夫多妻を認めていることもあって、成功した人の富が分割されやすい。これが資本の集積を妨げた。長子相続が主流だった英国や北フランスなどで、産業革命が起きたのは対照的だ。」

「イスラム世界も営利活動や私的財産を認めている。預言者ムハンマドも商家の出だった。だから資本主義と本質的に相いれないとは思われない。そうではなくて、イスラム法に基づく制度が問題をばらんでいるのだ。」

「最大の理由は独自の相続制度にある。イスラム法の規定では、故人の遺産を親族に広く分け与えなければならぬ。一夫多妻を認めていることもあって、成功した人の富が分割されやすい。これが資本の集積を妨げた。長子相続が主流だった英国や北フランスなどで、産業革命が起きたのは対照的だ。」

「その課題を克服し、経済的に巻き返せますか。」

「いまの中東は政治的に不安定だ。非民主的で正統性の乏しい政権が残り、資本の本格的な流入を妨げている。短期的に問題を解決するのは難しい。当面は発展途上国にとどまらざるを得ないだろう。」

「イスラム世界も営利活動や私的財産を認めている。預言者ムハンマドも商家の出だった。だから資本主義と本質的に相いれないとは思われない。そうではなくて、イスラム法に基づく制度が問題をばらんでいるのだ。」

「最大の理由は独自の相続制度にある。イスラム法の規定では、故人の遺産を親族に広く分け与えなければならぬ。一夫多妻を認めていることもあって、成功した人の富が分割されやすい。これが資本の集積を妨げた。長子相続が主流だった英国や北フランスなどで、産業革命が起きたのは対照的だ。」